

平成26年度第2回弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員の意見とその対応

(1) 第2回懇談会で発言のあった意見

区分	意見等の内容	提出意見等への対応
意見	既存事業 (5)観光振興 広域観光商品化情報発信事業 ・観光振興について、国外からも1300万人以上の方がおいでになっているので、「国内旅行」という表現のままでよいのか。	現状分析において「国内旅行」という表現を使用いたしましたが、対象として国内に限ってはおりませんし、「多様なニーズ」にインバウンドを包括しております。
意見	既存事業 (5)観光振興 広域観光商品化情報発信事業 ・「多様なニーズ」という点で、観光商品という点からは少し違うが、弘前の場合は弘前大学を中心とした医学レベルが高いので、検査等で訪れる等の独自の強みとなる標記があっても良いのではないのか。	ご意見のありました医療関連のニーズ（検査や学会）などのほか、ビジネス、教育、交流など様々なニーズがあることから、個別具体名を出さず、「多様なニーズ」と表現しています。
意見	既存事業 (5)観光振興 広域観光商品化情報発信事業 ・現状と課題について、個人旅行も団体旅行もどちらも考慮が必要だということと、医療・福祉のニーズだとか、学会などアカデミックな部分での開発も必要ではないという意見なので、書き方の部分でご検討をいただきたい。	ご意見のありました医療関連のニーズ（検査や学会）などのほか、ビジネス、教育、交流など様々なニーズがあることから、個別具体名を出さず、「多様なニーズ」と表現しています。
意見	新規事業 (3)教育 大石武学流庭園調査・活用事業 事業内容について、3市以外での取組みも一括で考えることはできないか、表現の部分を検討していただきたい。	国名勝指定に係る調査において3市を含む他市町村における現況確認を必要とするものであり、「圏域内に現存する…」に3市以外の当該圏域での調査も含まれております。
意見	新規事業 (3)教育 重要伝統的建造物群保存地区修理修景等及び活用事業 現状と課題「マイナス面」について希薄になっている事自体をマイナスと捉えているという意味ですので、その部分を少し改訂してください。	意見を踏まえて修正しました。 (別添「ビジョン」参照)
意見	新規事業 (3)教育 重要伝統的建造物群保存地区修理修景等及び活用事業 保存と活用のためには、文化庁だけではなく、国土交通省の補助の景観整備なども活用しながら進めないといけない。教育委員会だけではなく、都市政策課も一緒に動く必要がある。文章に表現するという問題ではないが、施策として検討していただきたい。	ご意見のありました件については、他の自治体で取り組み事例があると伺っており、当圏域においても連携しての施策を検討してまいります。

(2) 第2回懇談会後に提出のあった意見

区分	意見等の内容	提出意見等への対応
意見	既存事業 (5)観光振興 広域観光商品化情報発信事業 ・現状と課題について 昨年からイベント、お祭り、の期間に関係なく、外国人観光客を見かける事が多くなりました。 今、ターゲットは外国人もいれて、考えた方がいいと思います。	現状分析において「国内旅行」という表現を使用いたしましたが、対象として国内に限ってはおりませんし、「多様なニーズ」にインバウンドを包括しております。
意見	既存事業 (5)観光振興 広域観光商品化情報発信事業 ・事業内容について 3項目のほかに情報発信だけでなく、外国人観光客を向い入れる体制作り等、盛り込んだ方がいいかと思いました。	「広域観光商品の情報発信」の事業内で外国人観光客が多く乗るクルーズ船への情報発信やおもてなし等を行っております。
意見	既存事業 (1)地域公共交通 公共交通利用促進の実施 ＜現状と課題について＞ 事業者側のマイナス面が強調されており利用する側の、意見・提案・何故利用しないのかが見えていない気がします。利用しない理由があるはずです。それから調べて、始めた方がいいかと思います。 また、おもしろい意見もでると思います。そういう意見を取り入れた運行など、PRする予算にしたらいいいと思います。 利用者の気持ちを配慮しないで、「乗りましょう」、「利用しましょう」では、いままでと同じと考えますし、無駄な予算になると思います。自分もたまに、バスを利用しますが、運行時間帯、運行先（ルート）、本数、曜日での時間、料金、バスの大きさ、燃費、人件費、整備費、回送車等、疑問に思うことが多々あります。 たまにしか利用しない自分でも考えますので、毎日、利用している方は、もっと不満、意見をもっていると考えます	ご意見として承り、参考とさせていただきます。

区分	意見等の内容	提出意見等への対応
意見	既存事業 (5)観光振興 広域観光商品化情報発信事業 ＜現状と課題について＞ 既に6年前には暗門の滝まで、台湾のツアーが大型バスで来ている事実があり、他国からの来客の増加傾向はしばらく続くと思う。この現状を認識することで課題も生まれると思います。 将来的には、大石武学流庭園の調査後の観光資源としての活用につながればと思う。 EX. 平川市と友好都市になっている旧知覧町（現 南九州市）では多くの武家屋敷（個人所有）と特効平和会館その他の観光資源と組み合わせたツアーが企画されています。	平成25年の日本への外国人観光客入込は1,300万人を超え、当市への外国人宿泊者数もH26は、H25の5,324人から約16%増の6,182人と増加傾向にある。このことは、圏域構成市町村でも課題として共通認識しており、重要だと捉えていることから、H26からは近年増えているクルーズ船の乗客対応として弘前駅での共同事業などを展開しております。 また、大石武学流庭園につきましては、市の活用方針を基に、弘前圏域定住自立圏観光推進協議会内で各コンテンツの磨き上げ、大石武学流の庭園をめぐる旅行商品の造成などの検討を行うこととしております。
意見	既存事業 (1)地域公共交通 公共交通利用促進の実施 ＜現状と課題について＞ ・圏域に於ける公共交通の利用者が減少している現実の中に、児童数減少のため、スクールバスを止め、タクシーでの通学に切り替えた学校もある。 ・高齢者を含めた住民が病院の送迎バスの利用、個人薬店の無料バスなど多く利用されているという現実がある。 ・しかし、利用者が少なくなっているというものの、市部への通勤・通学・通院・買い物のために利用している人たちにとっては、無くしてはならない交通機関である。 ・しかし、ある時間帯によっては、乗客が誰も乗車していないバス、列車一両に数人しか載っていない列車など見受けられる事もある。 ＜効果＞ ・公共交通体系のあり方・対応策をまとめた地域公共交通の基本計画を早急につ策定してほしいと思う。 ・ある国では公共交通の利用（地下鉄・バス・列車）は一枚のチケットで利用出来、楽しかった思い出がある。 ・公共交通の利用でのメリットや必要性について、一般の皆さんの意見を聞くこともあっていいかな？（公募）	ご意見として承ります。 なお、公共交通体系のあり方・対応策をまとめた地域公共交通の基本計画の策定については、平成24年度に弘前圏域地域公共交通計画を策定しており、その計画をもとに、県とともに路線の見直しなどを行っております。